

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	社会学部
大項目	7 国際交流
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況（院）

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 国際化・グローバル化に対応した教職員スタッフの充実	→ 外国籍教員および外国での教育・研究歴をもつ教員の比率	B	B	B		
2. 国際化・グローバル化に対応した教育課程の充実	→ 国際化、グローバル化などに対する理解を深める科目の設置	B	B	B		
3. 国際化・グローバル化に対応した学生受入体制の充実	→ 受入時のオリエンテーション、学期途中・期末における出席/成績管理、アンケート調査・面接による実態調査など留学生受入体制の整備	B	B	B		
4. 国際化・グローバル化に対応した語学能力の涵養	→ 必修科目「英語表現」において学生の使用言語も英語に限定する	B	B	B		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

### 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2011年度の外国人教員比率は14.8%であり、2009年度から3.7ポイント増加している。教育内容の国際化・グローバル化に向けた対応の一環として教員の海外派遣も活発であり、2011年度には長期3人、短期76人と2009年度から大きく増加している。
目標2	2009年度のカリキュラム改正で講義科目を3系7領域に整理したが、そのうちの1領域を「グローバル社会領域」として、国際化・グローバル化に対する理解を深める科目を設置している。また、マウントアリソン大学と協定し、ダブルディグリー制度を導入し、進学者も1名出ている。送り出し留学生が、長期28名、短期53名に上っている。
☆ 目標3	学部国際交流委員会を設置し、2011年度には外国人留学生について春学期・秋学期のアンケート調査および教職員と外国人留学生の懇談会を実施するなど、留学生の受け入れ体制の整備を進めている。2011年度受入外国人留学生は42名に上っている。
目標4	2010年度作成の「Sociology Department English Course Guidelines」では、必修科目「英語表現」における教員の使用言語は英語としている。現状では、各授業担当者の自主的な取り組みとして、教員・学生の使用言語を英語に限定する取り組みを進めている。インターメディア演習の一部クラスでは、外国語による授業を実施した。
備考	

## 《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【社会学部】			単位	2007	2008	2009	2010	2011	2012	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	3	3	3	3	3	3	5/1現在	
指標2	国際交流協定締結国数		国	3	3	3	3	3	3	5/1現在	
指標3	海外からの受け入れ学生数	国数	国	—	—	—	—	—	—		
		外国人留学生	正規	人	29	39	41	37	42	37	・5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的
			交換	人	—	—	—	—	—	—	・累計数 ・交換は正規以外とする。
		外国人留学生在籍学生比率	正規	%	1.0	1.4	1.5	1.3	1.5	1.3	外国人留学生÷在籍学生数
			交換	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	—	
その他 (セミナー等による受け入れ)	人	—	—	—	—	—	—	—			
指標4	海外への派遣学生数	国数	国	—	—	—	—	—	—	累計数	
		人数	長期	人	18	7	14	23	28	—	・累計数 ・1学期以上を「長期」
			短期	人	16	35	28	33	53	—	・累計数 ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	0.6	0.3	0.5	0.8	1.0	—	海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
			短期	%	0.6	1.3	1.0	1.1	1.9	—	
指標5	海外からの受け入れ教員数	長期	人	0	0	0	1	0	—	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	2	1	0	0	0	—	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標6	海外への派遣教員数	長期	人	1	1	0	1	3	—	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	55	51	37	54	76	—	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		人	—	—	0	0	0	—	・累計数 ・春・秋の合計	
指標8	外国人教員比率		%	—	—	11.1	13.5	14.8	13.2	・5/1現在	

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)